

II. 調查結果

Ⅱ. 調査結果

1. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果の総括

福岡市は、市民100人のうち、

97人が「福岡市のことが好き」で

95人が「福岡市は住みやすい」と感じ

92人が「福岡市にずっと住みたい」と願い

76人が「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」と思っている。

福岡市民は、福岡市を愛し、暮らしやすさを実感しながら、

この先もずっと住みたいと願い、

まわりの人や、福岡市に来た人のためにも、何か役に立ちたいと思っている。

福岡市は、「多様な人が暮らし、人にやさしい、みんなが好きになる都市」です。

本意識調査では、「好き」「住みやすい」「ずっと住みたい」「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」の主要指標を毎年継続的に調査し、経年変化を比較分析してきた。平成29年度から、18歳以上の数値を用いて比較しており、20歳以上を対象としてきた平成28年度までとは対象が異なることに留意する必要がある。

「好き」「住みやすい」「ずっと住みたい」とも、例年肯定派が9割を超える「高値安定」で推移しており、今年度も同様の結果となっている。

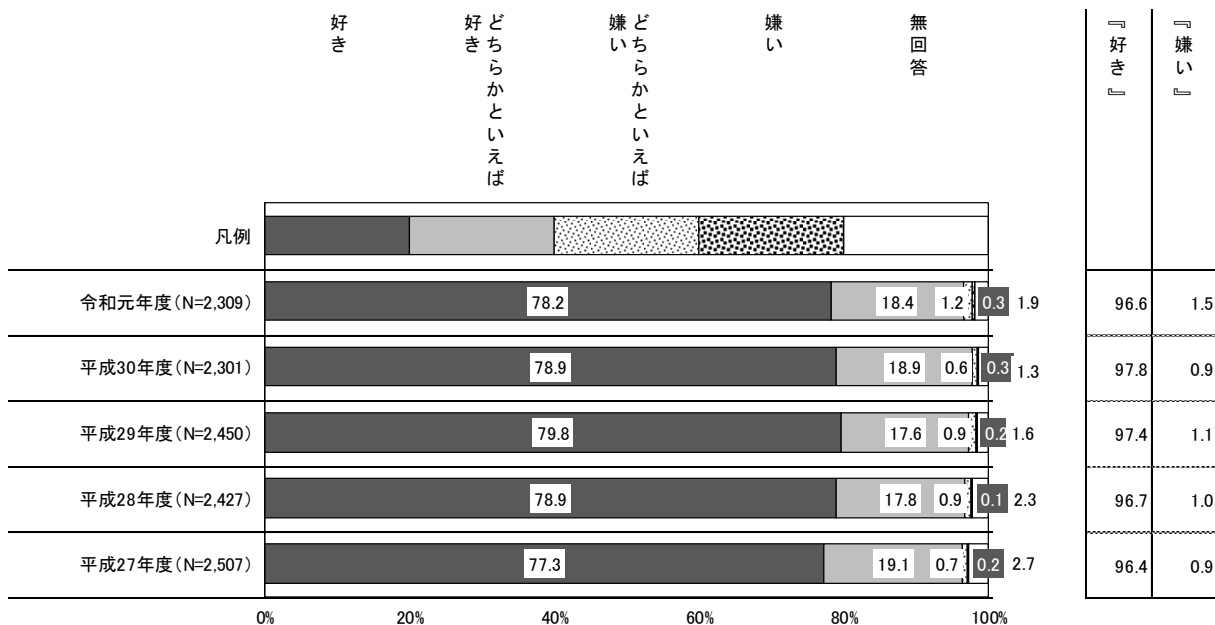
(1) 福岡市の暮らしに関する「4指標」の推移

「福岡市が好き」「福岡市は住みやすい」「福岡市にずっと住み続けたい」「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」という4つの結果指標（以下、4指標という）についてみる。

「福岡市が好き」については、肯定派（「好き」＋「どちらかといえば好き」の計）が96.6%と、例年同様の高い水準となった。

居住年数別にみても、居住年数の短い人は、「好き」の積極的な評価は少ないものの、肯定派は9割を超えており、短期間の居住者にも好きになる要素が多い都市であることがわかる。

図表1 福岡市が好きかどうか【過去の調査との比較】

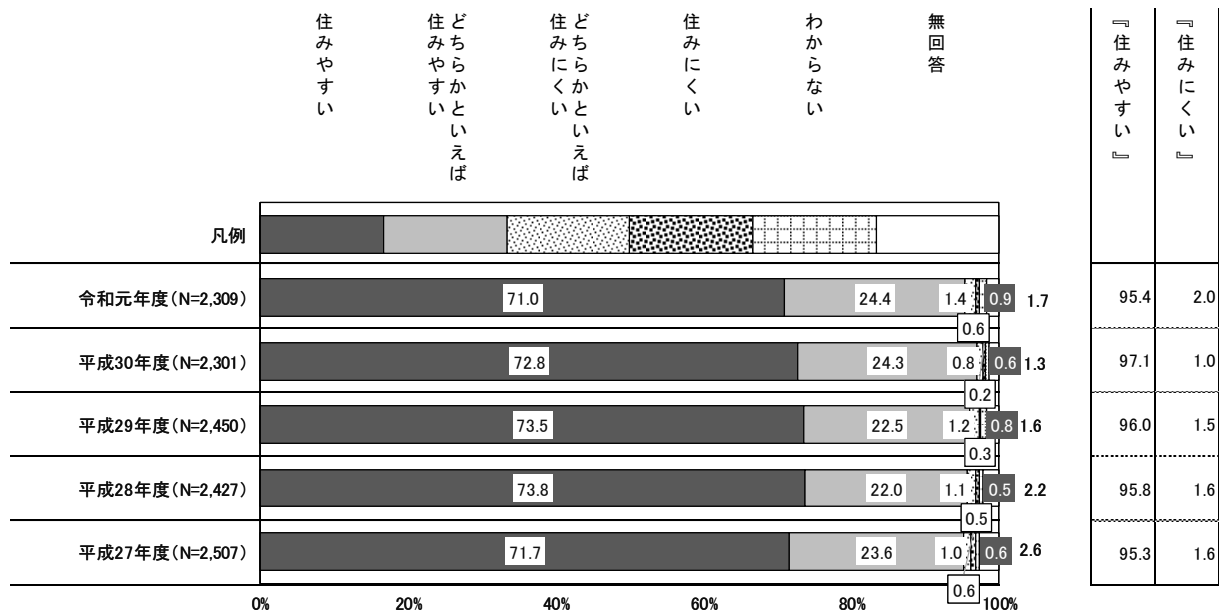


※平成29年度～令和元年度は18歳以上、平成27、28年度は20歳以上の回答

「福岡市は住みやすい」も同様の傾向を見せており、肯定派（「住みやすい」＋「どちらかといえば住みやすい」の計）が 95.4%で、経年比較も大きな変化はない。ただし、「住みやすい」という積極的な評価が、わずかとはいえ平成 29 年度以降低下し続けていることは、留意する必要がある。

居住年数別にみても、居住年数の短い人は、「住みやすい」の積極的な評価は少ないものの、肯定派は 9 割を超えており、転入者にも住みやすさは実感しやすい都市とみられている。

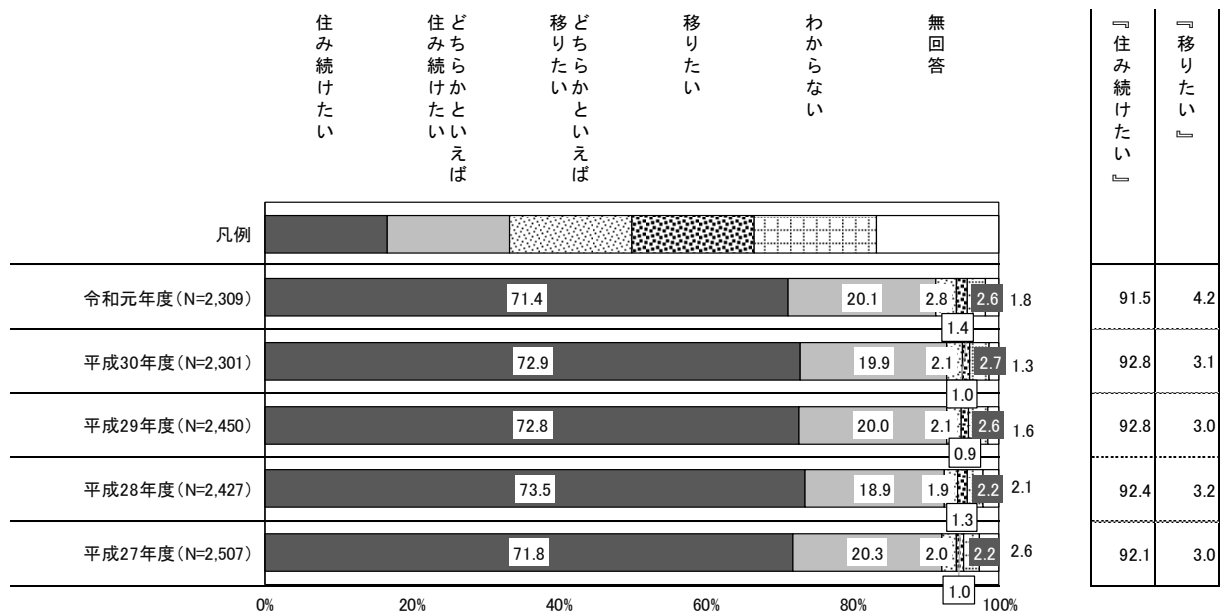
図表 2 福岡市は住みやすいと思うか【過去の調査との比較】



※平成 29 年度～令和元年度は 18 歳以上、平成 27、28 年度は 20 歳以上の回答

「福岡市にずっと住み続けたい」も同様で、肯定派（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の計）が91.5%，経年比較でも大きな変化はない。「そう思う」の積極的な評価が、わずかながら平成29年度以降減少に転じており、留意する必要がある。居住年数別にみると、居住年数が長いほど肯定派が多く、10年を超えると肯定派が9割を超える。福岡市は、長く住むほど継続して住みたくなる都市と評価されている。

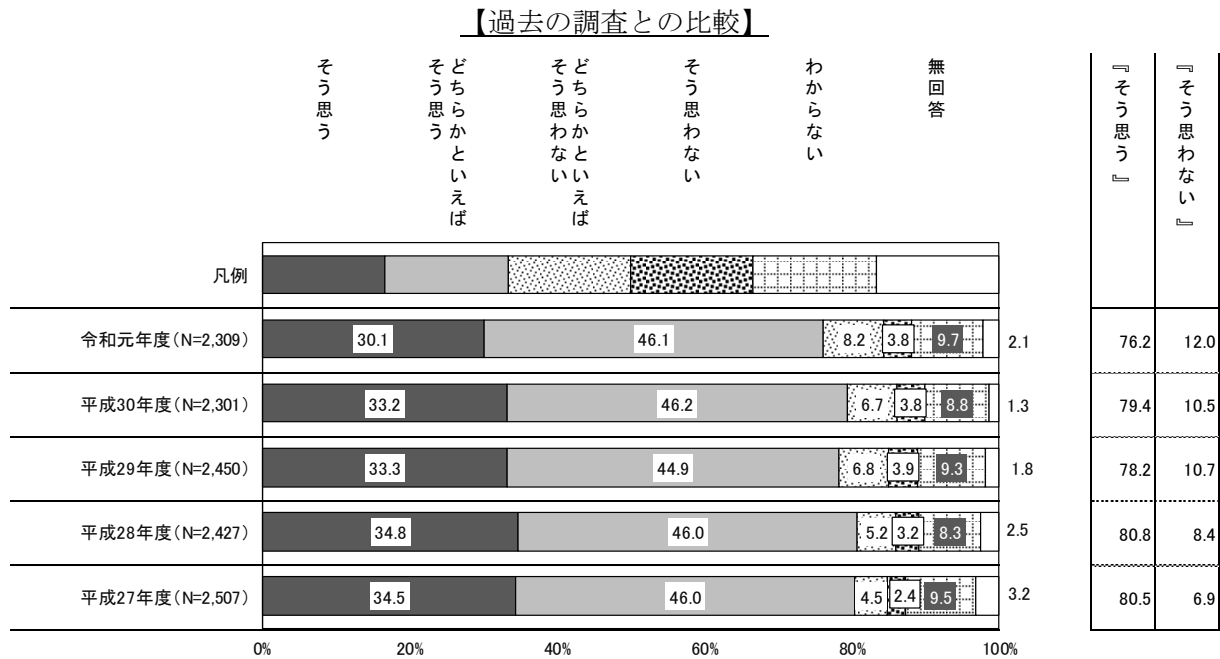
図表3 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【過去の調査との比較】



※平成29年度～令和元年度は18歳以上、平成27、28年度は20歳以上の回答

「福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたい」も例年同様、肯定派（「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」の計）は8割近く（76.2%）あるが、「そう思う」の積極的な評価が前年から3ポイント以上低下し、肯定派全体でも平成28年度比で4ポイント以上低下している点には気になるところである。

図表4 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか



※平成29年度～令和元年度は18歳以上、平成27、28年度は20歳以上の回答

※平成27年度の設問は「あなたは、福岡市のために何か役に立ちたいと思いますか。」

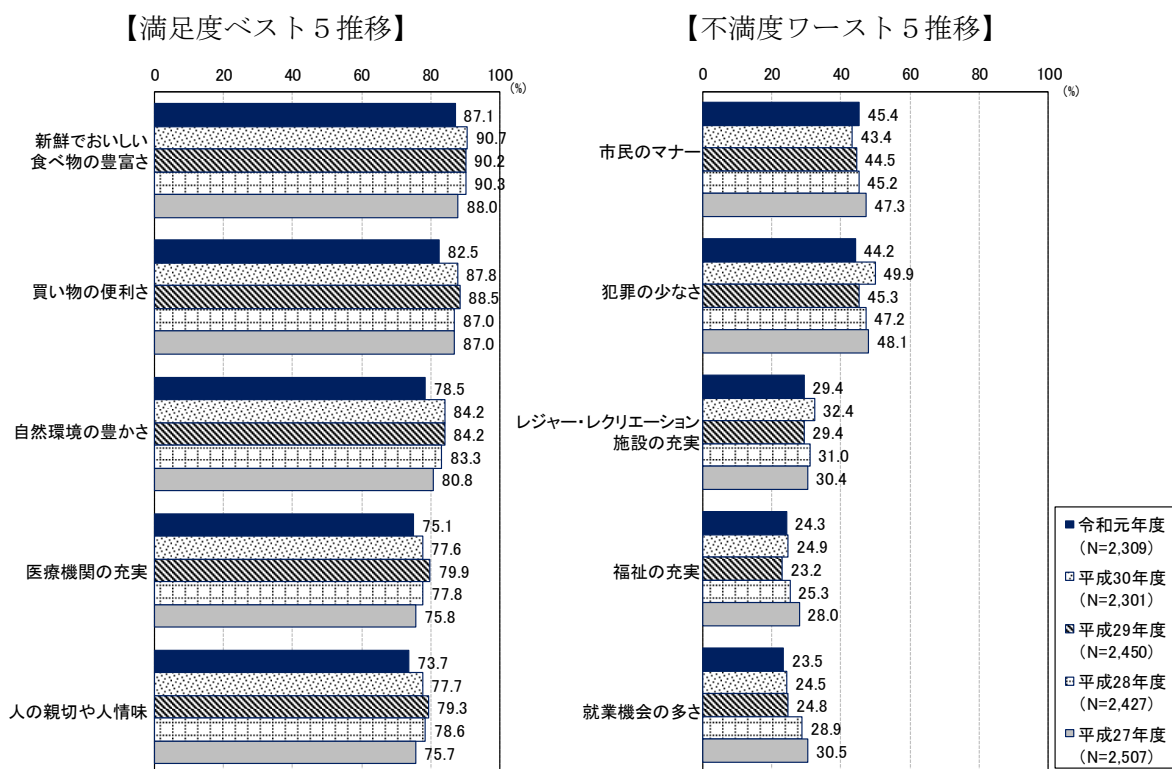
以上のように、4指標は、例年同様の高い水準で推移しているものの、積極的肯定派の低下傾向も見られるため、引き続き経年比較分析により検証していくことが求められる。

(2) 福岡市の都市環境等の満足度

福岡市の都市環境等について、「満足度」および「不満度」の特徴と経年推移について述べる。「満足度」(=「満足している」+「どちらかといえば満足」の計)については、80%を超えた「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」「買い物の便利さ」、70%台の「自然環境の豊かさ」「医療機関の充実」「人の親切や人情味」が、上位の5項目である。ほぼ前年同様の順位であるが、ベスト5全ての項目で、前年度から数値が低下していることに留意する必要がある。特に、「買い物の便利さ」「自然環境の豊かさ」は、5ポイント以上低下している。

「不満度」(=「不満がある」+「どちらかといえば不満」の計)が高いものは、「市民のマナー」「犯罪の少なさ」「レジャー・レクリエーション施設の充実」「福祉の充実」「就業機会の多さ」である。ワースト5もほぼ例年同様の順位であるが、数値自体は、前年度から改善(低下)しているものが多く、「犯罪の少なさ」が5ポイント以上低下したほか、「就業機会の多さ」は、平成28年度以降一貫して低下している。

図表5 都市環境等についての満足度推移



※平成29年度～令和元年度は18歳以上、平成27、28年度は20歳以上の回答

(3) 「福岡市の都市環境等の満足度」と「好き」「住みやすい」との相関分析

「福岡市の都市環境等の満足度」と「福岡市が好き」「福岡市は住みやすい」について、それぞれ相関係数（下枠参照）をもとに、相関分析を行い、都市環境等評価と、福岡市への愛着度、住みやすさ評価との関係性について考察した。

※相関係数：2つのデータがどれだけ関連性があるのかを示す係数で、-1～+1の間の数値となる。
関連性が強ければ1に近づき、弱ければ0に近づく。逆に、正反対の動きであれば-1に近づく。

「福岡市の都市環境等の満足度」と「福岡市が好き」において、最も相関係数が高いのは、「人の親切や人情味」で0.376の正の相関を示しており、「人の親切や人情味」項目の満足度が上がると「福岡市が好き」指標の向上が期待できる可能性が高い。このほか、「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」「自然環境の豊かさ」も0.300を超えており、「福岡市が好き」指標の向上と密接に関係している。

図表6 『好き』と「都市環境等の満足度」の相関係数と都市環境等の満足度

項目	令和元年度	
	相関係数 (問1と問5)	満足度(%) (問5)
人の親切や人情味	0.376	73.7
新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	0.313	87.1
自然環境の豊かさ	0.309	78.5
地域住民の連帯感の強さ	0.297	49.2
買い物の便利さ	0.295	82.5
芸術・文化水準	0.289	62.4
市民のマナー	0.271	40.8
住宅事情	0.269	69.0
教育環境	0.260	55.5
子育てのしやすさ	0.260	49.8
就業機会の多さ	0.246	45.4
物価の安さ	0.245	68.9
福祉の充実	0.236	44.8
自然災害の少なさ	0.230	72.5
交通の便	0.230	71.7
医療機関の充実	0.215	75.1
レジャー・レクリエーション施設の充実	0.206	49.2
犯罪の少なさ	0.176	36.5

「福岡市の都市環境等の満足度」と「福岡市は住みやすい」の相関係数において、「買い物の便利さ」「人の親切や人情味」「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」などが上位項目となっている。「自然環境の豊かさ」「住宅事情」「子育てのしやすさ」「物価の安さ」「教育環境」も 0.300 以上で、住みやすさの向上は、多様な都市環境等との関わりが強いことがわかる。住む人の個々の状況で、住みやすさを感じる都市環境の要素は異なると考えられるが、福岡市は、多様な人がそれぞれの状況で高い満足感を得ているからこそ、住みやすさの高評価に結びついているとみることができる。

図表7 『住みやすい』と「都市環境等の満足度」の相関係数と都市環境等の満足度

項目	令和元年度	
	相関係数 (問2と問5)	満足度(%) (問5)
買い物の便利さ	0.366	82.5
人の親切や人情味	0.363	73.7
新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	0.328	87.1
自然環境の豊かさ	0.324	78.5
住宅事情	0.321	69.0
子育てのしやすさ	0.321	49.8
物価の安さ	0.311	68.9
教育環境	0.302	55.5
地域住民の連帯感の強さ	0.291	49.2
交通の便	0.291	71.7
福祉の充実	0.284	44.8
就業機会の多さ	0.277	45.4
芸術・文化水準	0.267	62.4
医療機関の充実	0.263	75.1
市民のマナー	0.250	40.8
レジャー・レクリエーション施設の充実	0.225	49.2
自然災害の少なさ	0.208	72.5
犯罪の少なさ	0.198	36.5

2. 「福岡市の住みやすさ」に関する調査結果

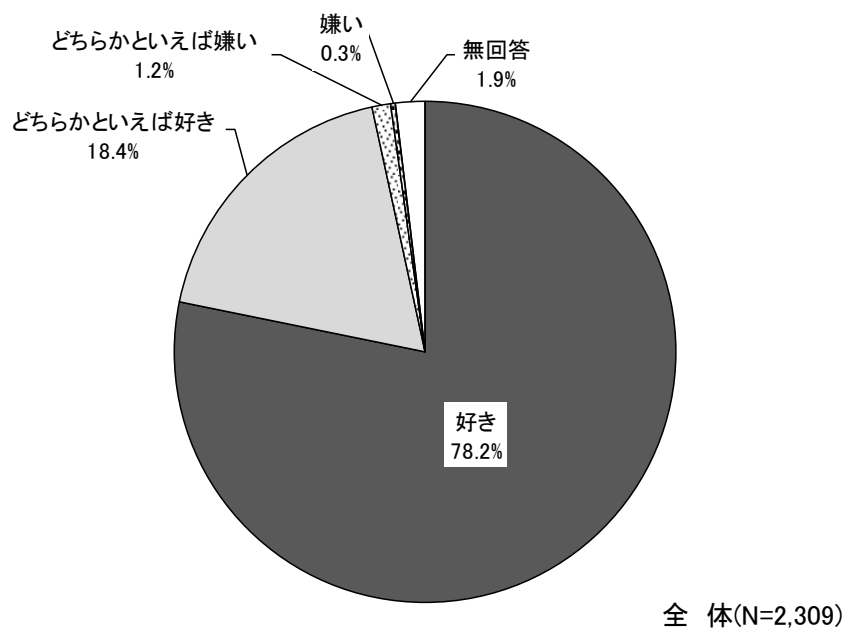
(1) 福岡市が好きかどうか

問1 あなたは福岡市が好きですか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

福岡市が好きかどうかについて聞いたところ、「好き」と回答した人が78.2%と最も多く、次いで「どちらかといえば好き」(18.4%)となっている。

また、『好き』(=「好き」+「どちらかといえば好き」)の割合は96.6%で9割台後半となっている。一方、『嫌い』(=「嫌い」+「どちらかといえば嫌い」)の割合は1.5%となっている。

図表 福岡市が好きかどうか【全体】

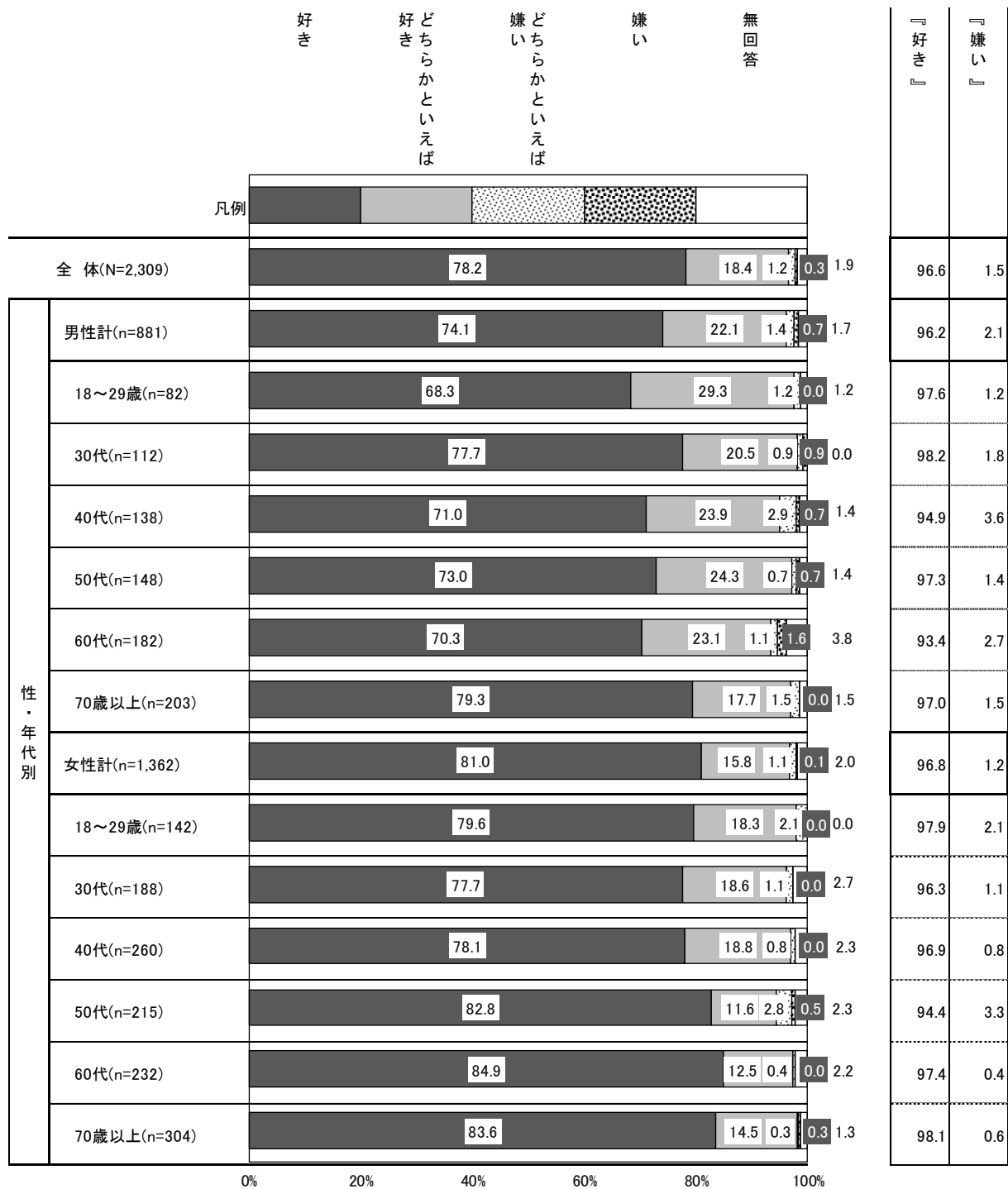


『好き』	96.6%
『嫌い』	1.5%

性別にみると、女性では「好き」(81.0%)の割合が男性(74.1%)に比べて6.9ポイント高くなっている。

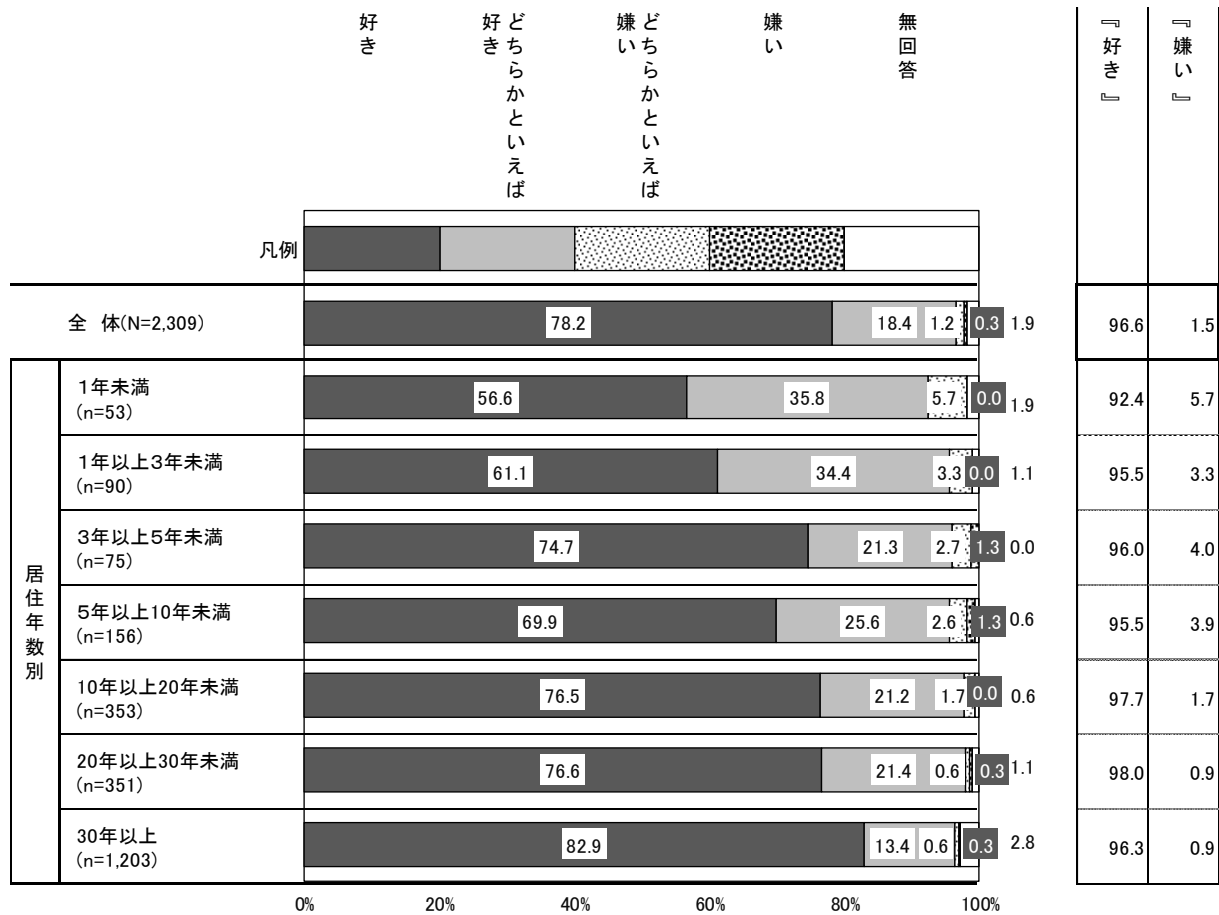
性・年代別にみると、男女ともにいずれの年代でも『好き』の割合が9割を超えている。その内訳をみると、女性では50代以上で「好き」が8割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市が好きかどうか【性・年代別】



居住年数別にみると、いずれの居住年数においても、『好き』の割合が9割を超えている。概ね居住年数が長いほど「好き」の割合が高くなっており、30年以上では「好き」の割合が82.9%となっている。

図表 福岡市が好きかどうか【居住年数別】



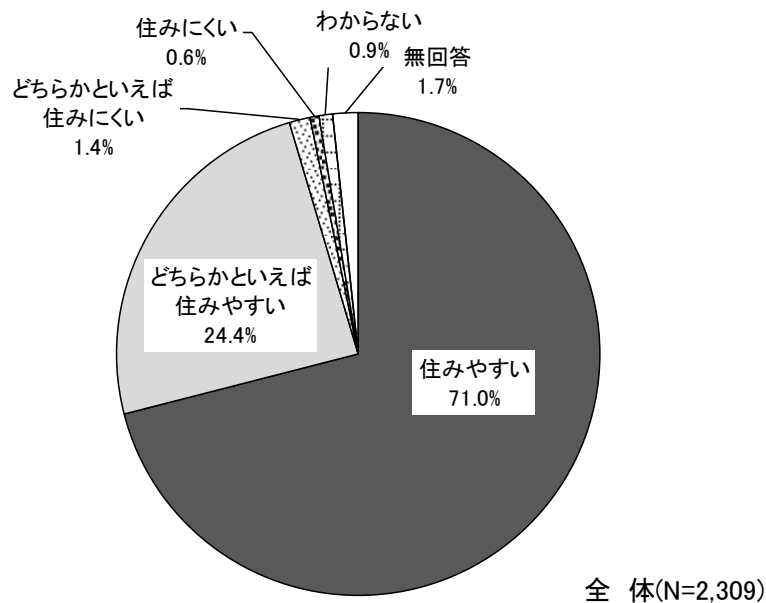
(2) 福岡市は住みやすいと思うか

問2 総合的にみて、福岡市は住みやすいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

総合的にみて、福岡市は住みやすいと思うかについて聞いたところ、「住みやすい」と回答した人が、71.0%と最も多く、次いで「どちらかといえば住みやすい」(24.4%)となっている。

また、『住みやすい』(=「住みやすい」+「どちらかといえば住みやすい」)の割合は95.4%で9割半ばとなっている。一方、『住みにくい』(=「住みにくい」+「どちらかといえば住みにくい」)の割合は2.0%となっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【全体】

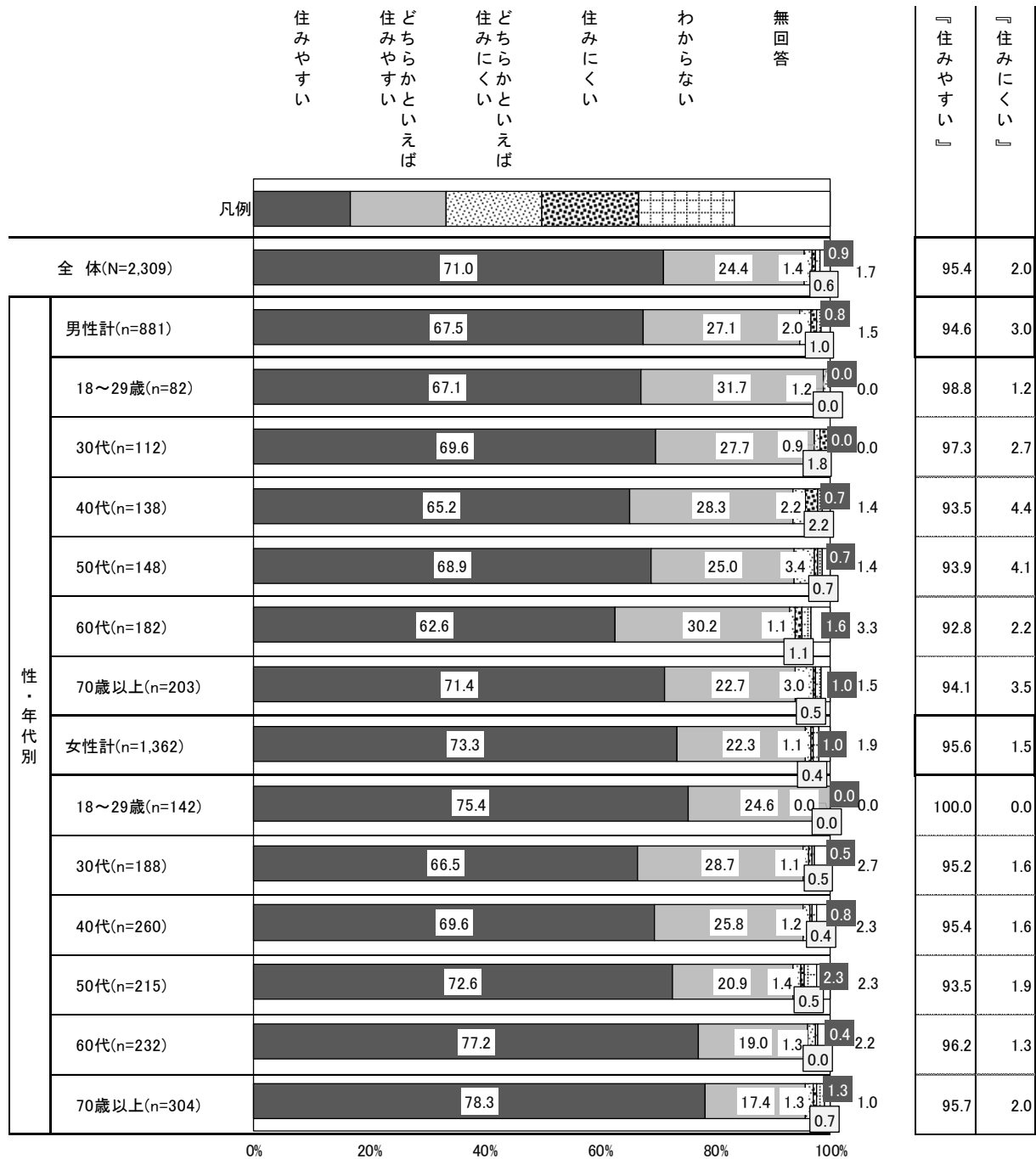


『住みやすい』	95.4%
『住みにくい』	2.0%

性別にみると、女性では「住みやすい」(73.3%)の割合が男性(67.5%)に比べて5.8ポイント高くなっている。

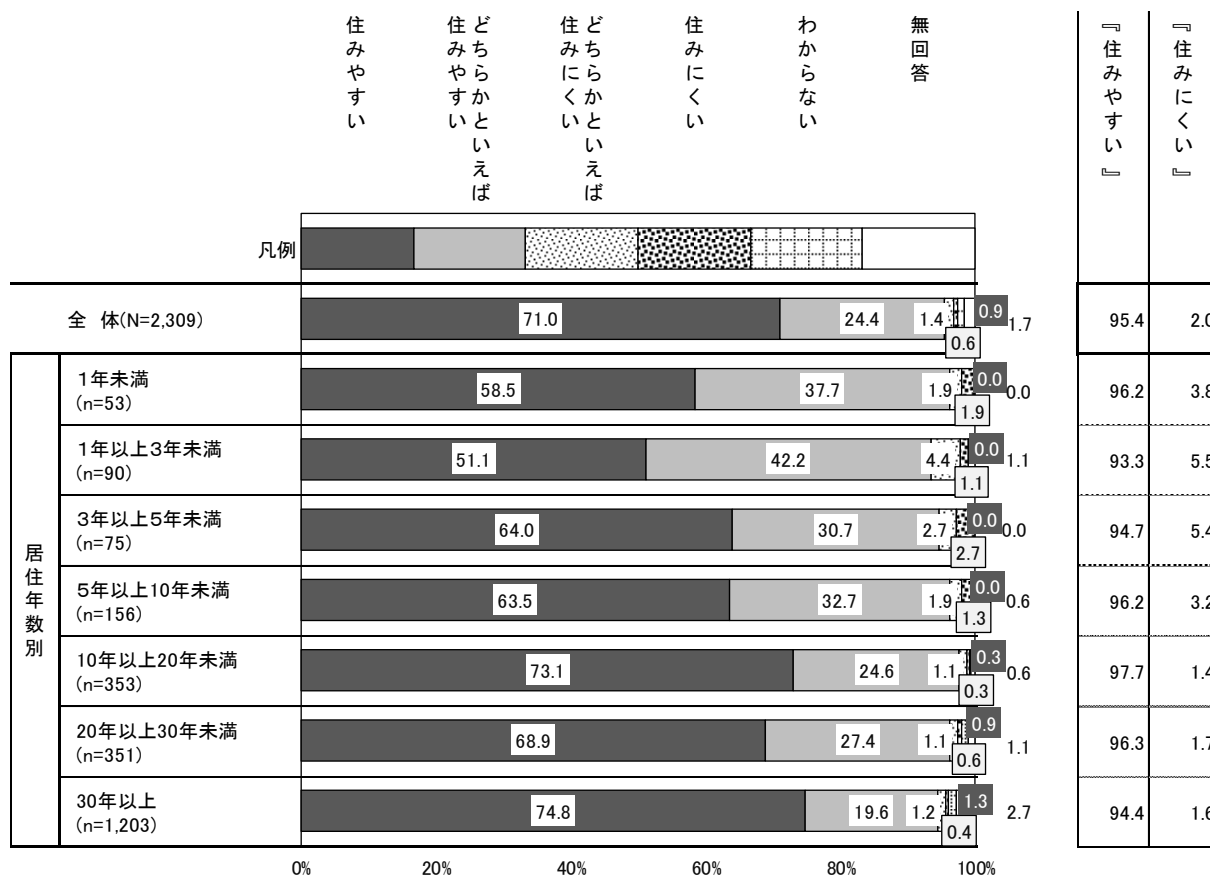
性・年代別にみると、男女ともにいずれの年代でも『住みやすい』の割合が9割を超えている。その内訳をみると、男性では70歳以上、女性は18～29歳、50代以上で「住みやすい」が7割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【性・年代別】



居住年数別にみると、いずれの居住年数においても、『住みやすい』の割合が9割を超えている。10年以上では、「住みやすい」の割合が7割前後となっている。

図表 福岡市は住みやすいと思うか【居住年数別】



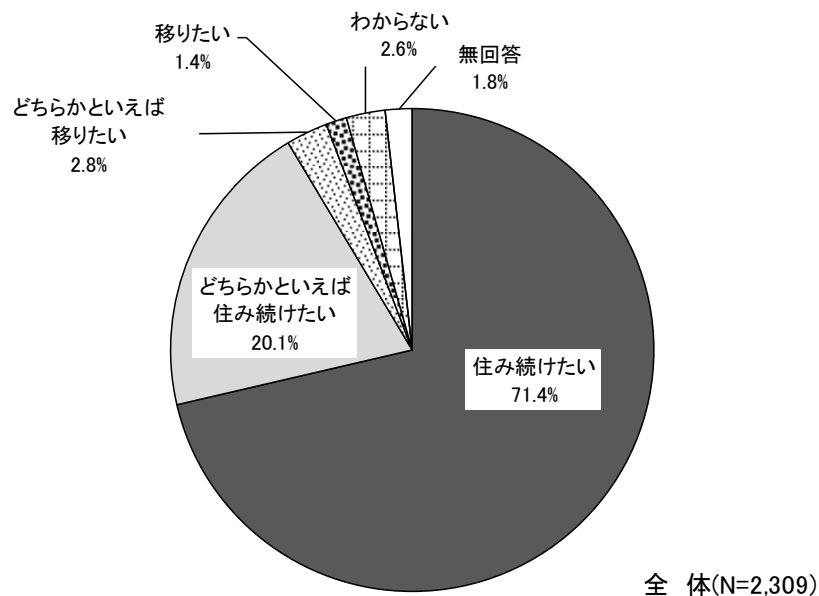
(3) 福岡市にずっと住み続けたいと思うか

問3 あなたは事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

事情が許せば福岡市にずっと住み続けたいと思うかについて聞いたところ、「住み続けたい」と回答した人が 71.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば住み続けたい」(20.1%) となっている。

また、『住み続けたい』(=「住み続けたい」+「どちらかといえば住み続けたい」)の割合は 91.5%となっている。一方、『移りたい』(=「移りたい」+「どちらかといえば移りたい」)の割合は 4.2%となっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【全体】

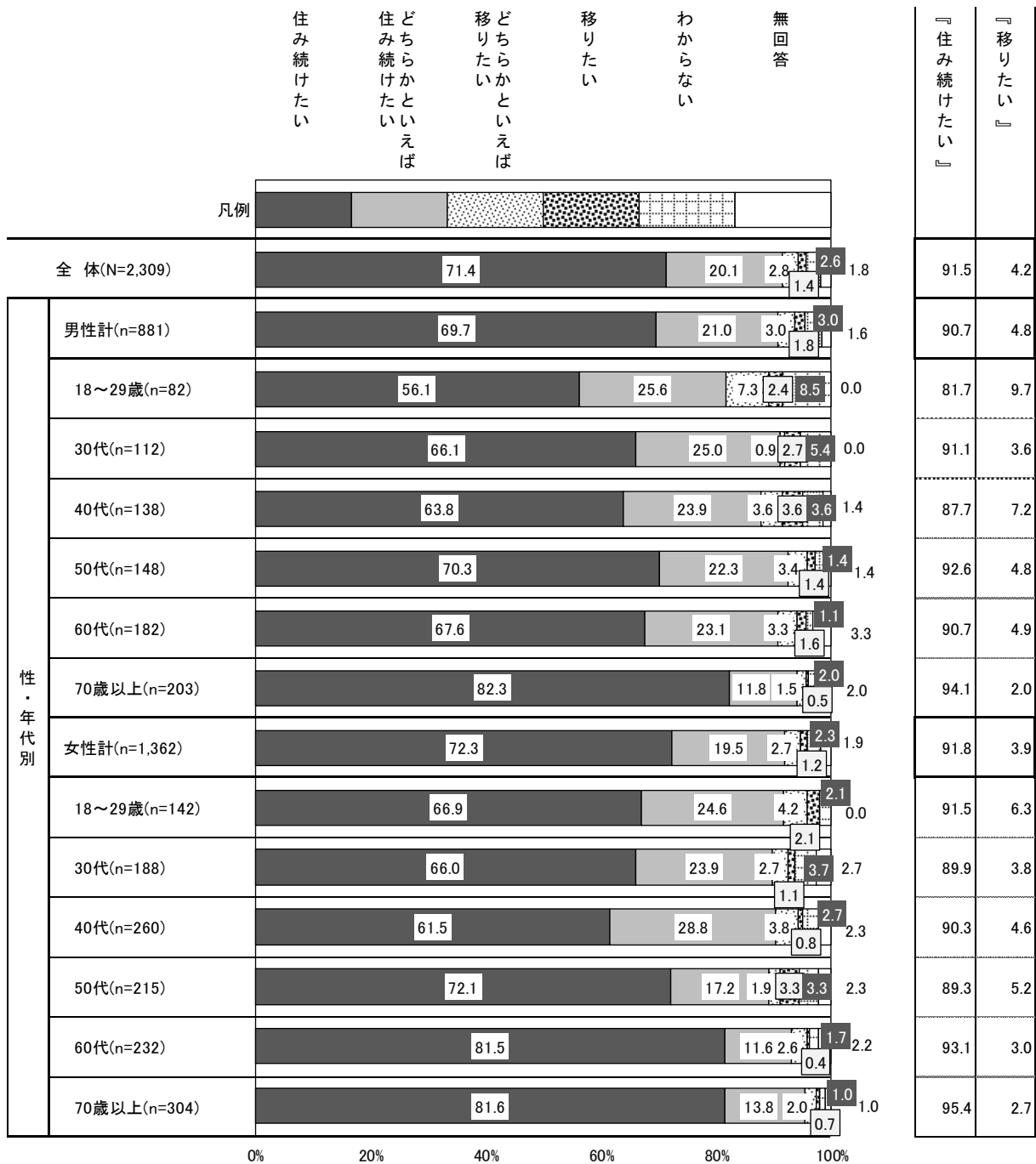


『住み続けたい』	91.5%
『移りたい』	4.2%

性別にみると、男女ともに『住み続けたい』の割合が9割を超えている。

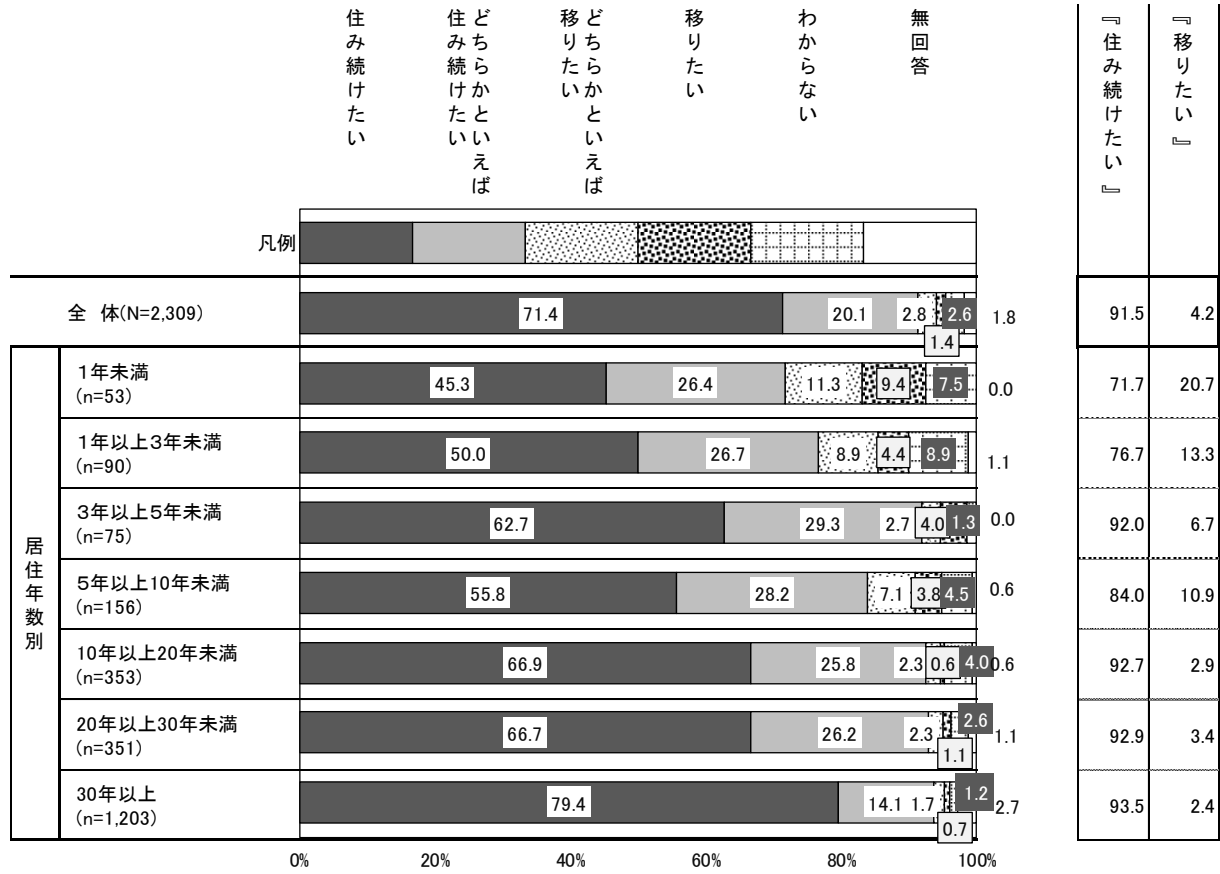
性・年代別にみると、『住み続けたい』の割合は男性 18～29 歳以外の年代では8割台後半から9割台となっている。その内訳をみると、男性 70 歳以上、女性 60 代以上では「住み続けたい」の割合が8割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【性・年代別】



居住年数別にみると、「住み続けたい」の割合は、居住年数が長くなるほど高くなる傾向にあり、30年以上では約8割となっている。

図表 福岡市にずっと住み続けたいと思うか【居住年数別】



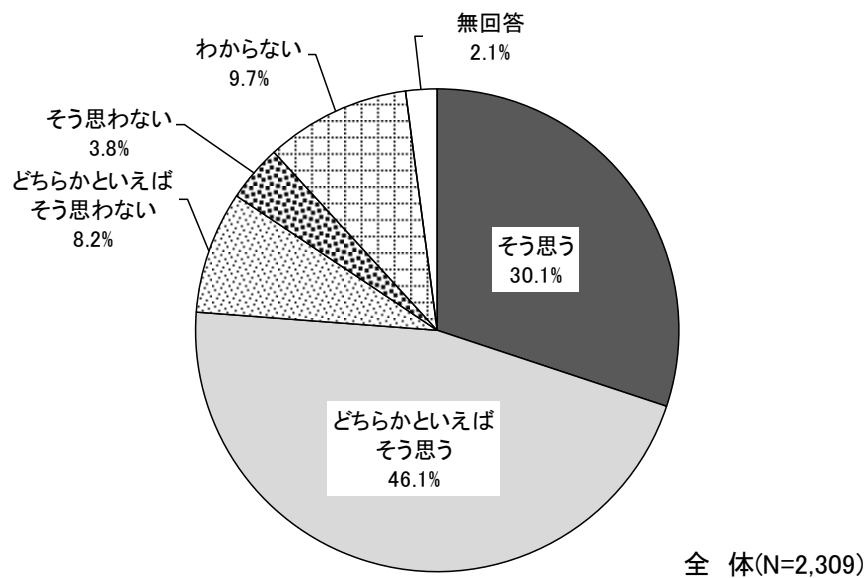
(4) 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか

問4 あなたは福岡市で暮らす人や福岡市を訪れる人のために、何か役に立ちたいと思いますか。あてはまるものを**1つだけ**選び、番号に○をつけてください。

福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うかについて聞いたところ、「どちらかといえ
ばそう思う」と回答した人が46.1%と最も多く、次いで「そう思う」(30.1%)となっている。

また、『そう思う』(=「そう思う」+「どちらかといえばそう思う」)の割合は76.2%となっ
ている。一方、『そう思わない』(「そう思わない」+「どちらかといえばそう思わない」)の割合
は12.0%となっている。

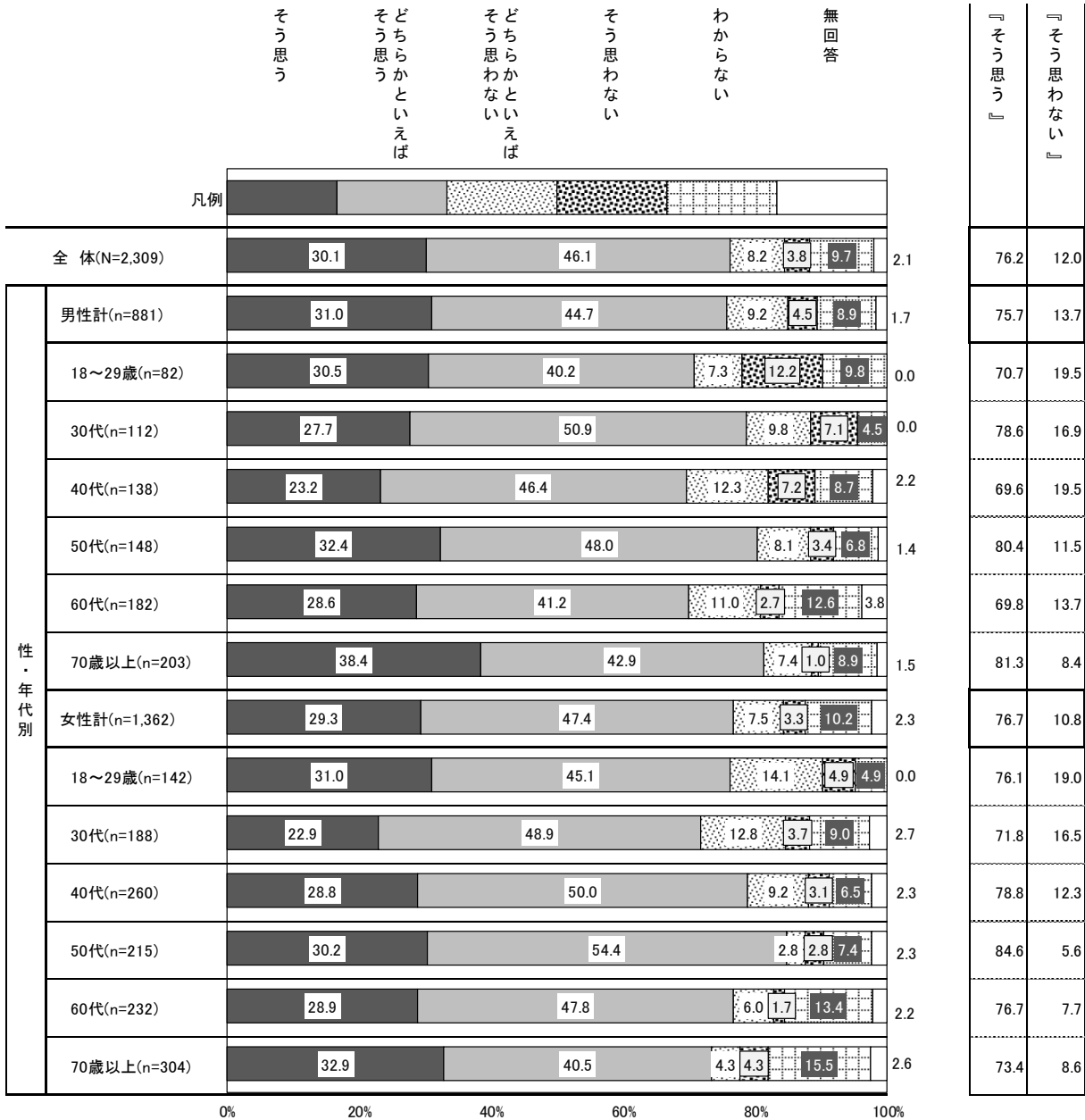
図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【全体】



性別にみると、大きな違いはみられない。

性・年代別にみると、男性 50 代・70 歳以上、女性 50 代では、『そう思う』の割合が 8 割を超えており、他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市民や訪問者のために何か役に立ちたいと思うか【性・年代別】



(5) 福岡市の都市環境等に関する満足度

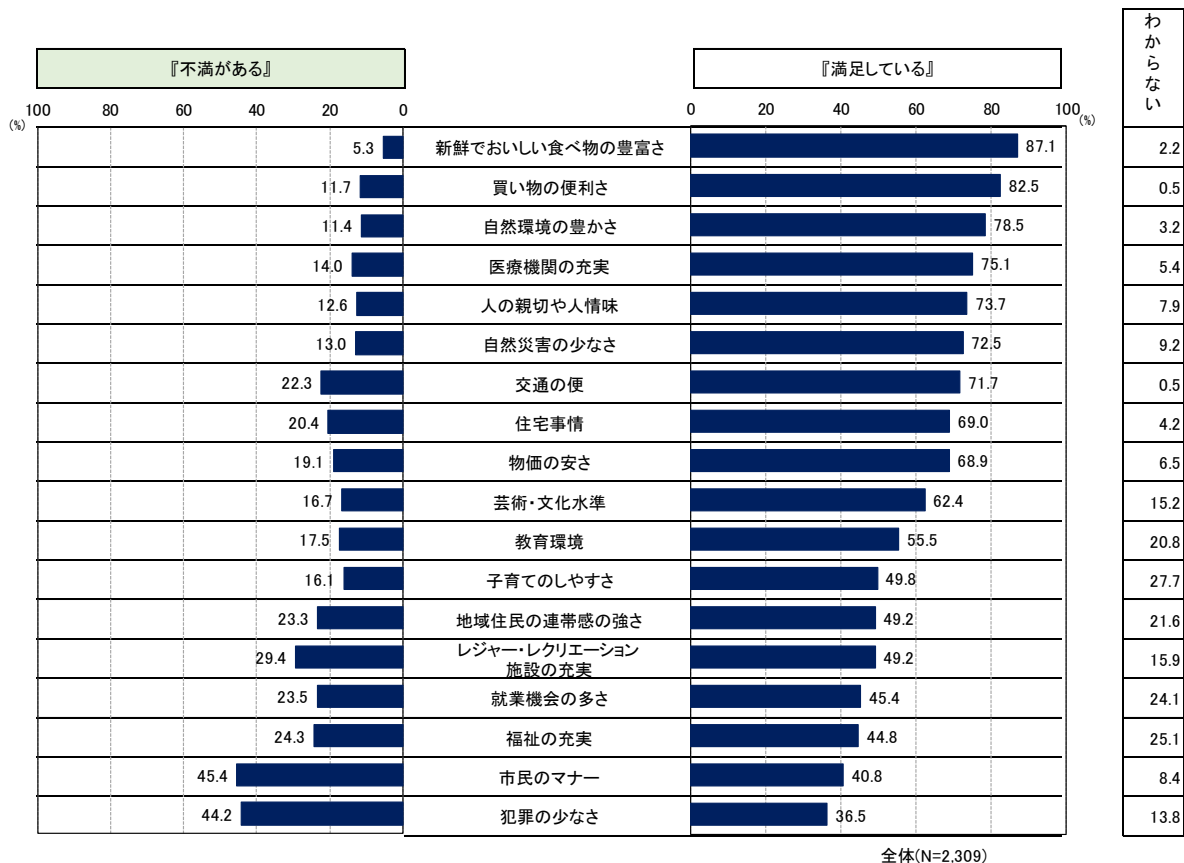
問5 以下の福岡市の都市環境等についてどの程度満足していますか。もしくは不満がありますか。(1)～(18)のそれぞれの項目について、あてはまるものを1つつ選び、番号に○をつけてください。

福岡市の都市環境等で、『満足している』(=「満足している」+「どちらかといえば満足」と回答した人は、「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」が87.1%と最も多く、次いで「買い物の便利さ」(82.5%)、「自然環境の豊かさ」(78.5%)となっている。

一方、『不満がある』(=「不満がある」+「どちらかといえば不満」と回答した人は、「市民のマナー」が45.4%と最も多く、次いで「犯罪の少なさ」(44.2%)、「レジャー・レクリエーション施設の充実」(29.4%)となっている。

また、「わからない」と回答した人は、「子育てのしやすさ」が27.7%と最も多く、次いで「福祉の充実」(25.1%)、「就業機会の多さ」(24.1%)となっている。

図表 福岡市の都市環境等に関する満足度【全体】



福岡市の都市環境等で『満足している』点について、性別にみると、男女ともに「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」（男性：86.1%，女性：88.4%）の満足度が最も高くなっている。

性・年代別にみると、男性では70歳以上を除く年代、女性30代・50代以上では「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」、男性70歳以上では「自然環境の豊かさ」、女性18～29歳・40代では「買い物の便利さ」の満足度が最も高くなっている。また、男女ともに70歳以上では「福祉の充実」の割合が5割を超えており他の性・年代に比べて高くなっている。

図表 福岡市の都市環境等で『満足している』点【性・年代別】

単位：%

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,309	78.5 (3位)	69.0	71.7	82.5 (2位)	68.9	87.1 (1位)	62.4	55.5	49.8
男性計	881	76.9 (3位)	68.4	72.1 (5位)	82.2 (2位)	67.0	86.1 (1位)	60.3	54.4	45.3
18～29歳	82	75.6 (4位)	71.9	75.6 (4位)	84.1 (2位)	62.2	87.8 (1位)	50.0	47.5	31.7
30代	112	74.1 (3位)	67.0	70.6 (5位)	85.7 (2位)	62.6	91.1 (1位)	54.5	47.3	36.6
40代	138	74.6 (4位)	65.2	75.4 (3位)	82.7 (2位)	71.0	91.3 (1位)	62.3	50.0	41.3
50代	148	74.3 (3位)	64.2	66.2	81.1 (2位)	71.6	86.5 (1位)	64.9	60.8	54.0
60代	182	78.1 (3位)	65.4	72.0 (5位)	84.1 (2位)	68.7	85.2 (1位)	61.0	53.9	44.5
70歳以上	203	79.8 (1位)	74.3	74.3	76.8 (5位)	63.5	78.3 (2位)	59.6	58.6	51.7
女性計	1,362	79.8 (3位)	70.4	72.0	83.4 (2位)	70.5	88.4 (1位)	64.1	56.9	53.1
18～29歳	142	69.7	71.1	81.0 (3位)	90.1 (1位)	70.4	87.3 (2位)	65.5	56.3	39.5
30代	188	80.9 (3位)	67.1	73.4	84.6 (2位)	73.4	90.4 (1位)	63.3	50.0	51.6
40代	260	79.2 (3位)	68.5	72.7 (5位)	86.2 (1位)	70.7	85.4 (2位)	65.0	56.1	52.3
50代	215	82.3 (3位)	68.4	66.9	85.1 (2位)	73.5 (5位)	90.2 (1位)	64.2	57.2	60.0
60代	232	81.5 (2位)	73.7	67.2	78.0 (4位)	70.3	89.3 (1位)	64.2	62.5	54.3
70歳以上	304	82.2 (3位)	74.4	74.4	80.9 (4位)	67.8	88.8 (1位)	65.4	59.5	57.2

	就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域の強さ 住民の連帯感	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	エレベーター・シャーン・施設の充実	
45.4	75.1 (4位)	44.8	73.7 (5位)	49.2	72.5	36.5	40.8	49.2	全体	
45.3	75.4 (4位)	44.1	70.9	45.7	70.2	35.2	38.1	49.2	男性計	
58.5	79.3 (3位)	45.1	63.4	41.5	65.8	29.2	37.8	54.9	18～29歳	
39.3	71.4 (4位)	38.4	69.6	38.4	61.6	30.4	42.9	53.6	30代	
45.6	72.4	39.9	73.2 (5位)	47.1	64.4	26.1	29.7	46.4	40代	
46.7	72.3 (4位)	41.2	71.7	47.3	72.3 (4位)	30.4	31.7	39.8	50代	
41.2	76.4 (4位)	42.8	70.8	41.7	70.4	34.6	35.2	48.9	60代	
44.3	78.3 (2位)	51.7	72.4	51.3	77.9 (4位)	50.2	47.8	51.7	70歳以上	
45.9	75.2 (5位)	45.5	75.9 (4位)	51.7	73.7	37.6	42.5	49.7	女性計	
50.7	78.9 (4位)	48.6	71.8 (5位)	44.4	71.1	29.6	48.6	42.3	18～29歳	
49.5	78.7 (4位)	39.9	76.1 (5位)	46.3	64.9	23.9	44.7	49.4	30代	
50.8	72.7 (5位)	36.2	75.4 (4位)	53.0	67.7	31.9	36.1	54.6	40代	
49.3	71.1	40.5	77.2 (4位)	50.2	69.8	34.0	34.0	48.4	50代	
41.8	73.3	46.6	76.3 (5位)	51.7	81.5 (2位)	40.9	40.1	51.3	60代	
38.5	79.6 (5位)	58.6	79.0	59.9	83.9 (2位)	56.6	53.6	51.3	70歳以上	

福岡市の都市環境等で『満足している』点について、行政区別にみると、博多区以外では「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」の満足度が最も高くなっている。また、博多区では「買い物の便利さ」の満足度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境等で『満足している』点【行政区別】

単位：%

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,309	78.5	69.0	71.7	82.5	68.9	87.1	62.4	55.5	49.8
東区	522	77.4	72.9	74.7	83.2	69.4	86.6	60.5	55.8	50.8
博多区	281	74.0	69.7	81.5	89.3	70.9	88.6	65.5	52.6	43.4
中央区	251	80.5	68.9	78.5	86.0	72.9	89.6	62.5	53.4	44.3
南区	358	77.7	68.1	68.4	80.8	66.8	85.5	60.4	59.8	53.6
城南区	199	78.4	63.3	68.4	83.4	66.9	87.4	63.9	56.8	45.2
早良区	306	81.1	69.0	69.9	78.8	67.9	88.2	63.4	55.6	50.3
西区	320	82.2	70.6	63.5	80.9	70.3	87.2	64.4	56.5	58.2

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
45.4	75.1	44.8	73.7	49.2	72.5	36.5	40.8	49.2	全体
45.0	74.5	48.6	71.1	52.5	74.1	37.8	41.0	52.8	東区
49.8	72.6	41.7	76.8	50.9	65.5	32.7	39.1	47.7	博多区
46.2	75.3	41.9	74.5	39.5	69.7	34.3	37.1	48.6	中央区
45.5	77.1	42.2	73.5	50.6	73.8	40.5	42.7	48.9	南区
43.7	75.9	46.7	72.4	46.2	76.4	37.7	39.7	50.7	城南区
42.5	74.5	44.8	77.1	48.4	72.5	35.9	41.8	49.1	早良区
46.8	77.2	46.2	75.7	52.2	73.1	36.9	42.2	47.2	西区

福岡市の都市環境等で『不満がある』点について、性別にみると、男女ともに「市民のマナー」(男性：49.3%，女性：43.5%)の不満度が最も高くなっている。

性・年代別にみると、男女とも40代以上では「市民のマナー」，18～29歳・30代では「犯罪の少なさ」の不満度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境等で『不満がある』点【性・年代別】

単位：%

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物 の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,309	11.4	20.4	22.3	11.7	19.1	5.3	16.7	17.5	16.1
男性計	881	12.7	20.5	21.7	11.2	20.7	5.3	17.6	18.1	17.5
18～29歳	82	12.2	22.0	20.8	10.9	22.0	6.1	20.8	24.4 (4位)	13.4
30代	112	16.9	23.2	25.0	8.9	28.5 (5位)	3.6	22.4	23.3	24.2
40代	138	18.1	25.3	20.3	13.8	21.7	3.6	13.7	20.3	21.0
50代	148	15.6	25.7	27.7	13.6	19.6	6.8	20.2	17.6	18.9
60代	182	11.5	20.3	21.9	9.3	18.1	5.4	17.0	17.5	18.6
70歳以上	203	6.4	11.9	15.3	11.9	17.2	6.4	16.3	12.3	11.4
女性計	1,362	10.7	19.8	22.5 (5位)	11.5	17.9	5.1	15.7	16.8	14.9
18～29歳	142	17.6	20.4 (5位)	16.9	7.7	19.0	7.0	10.6	12.7	14.1
30代	188	13.3	24.0 (5位)	21.8	11.7	16.0	4.3	13.8	19.1	17.0
40代	260	12.7	22.3	21.5	8.1	19.7	5.8	18.5	21.2	20.7
50代	215	11.6	25.1	28.3	11.1	18.6	5.1	23.2	23.8	14.0
60代	232	7.3	15.5	26.3 (5位)	16.4	16.8	4.3	20.3	15.5	15.1
70歳以上	304	6.3	13.9	19.8	12.8	17.7	4.9	9.5	10.5	9.9

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感 の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	充 実 エ レ ジ ン シ ョ ン ・ 施 設 の リ	
23.5 (5位)	14.0	24.3 (4位)	12.6	23.3	13.0	44.2 (2位)	45.4 (1位)	29.4 (3位)	全体
24.9	14.1	26.3 (5位)	14.7	27.0 (4位)	15.3	46.6 (2位)	49.3 (1位)	31.6 (3位)	男性計
15.9	10.9	11.0	19.5	18.3	23.2 (5位)	52.4 (1位)	50.0 (2位)	30.5 (3位)	18～29歳
30.3 (4位)	18.8	25.9	16.1	27.7	23.3	55.4 (1位)	48.2 (2位)	33.0 (3位)	30代
29.0 (4位)	16.6	23.9	17.3	28.2 (5位)	18.8	60.1 (2位)	60.9 (1位)	35.5 (3位)	40代
29.1 (5位)	16.9	29.0	14.2	33.2 (4位)	16.9	56.0 (2位)	57.4 (1位)	41.9 (3位)	50代
27.5	13.7	34.1 (3位)	13.7	29.1 (5位)	12.6	43.4 (2位)	48.9 (1位)	30.2 (4位)	60代
18.3	9.4	25.6 (3位)	11.4	24.1 (4位)	6.9	26.1 (2位)	36.0 (1位)	23.6 (5位)	70歳以上
22.3	13.7	22.7 (4位)	11.3	20.6	11.6	42.5 (2位)	43.5 (1位)	27.9 (3位)	女性計
15.5	7.0	9.2	14.8	22.5 (4位)	9.8	51.5 (1位)	40.9 (2位)	32.4 (3位)	18～29歳
24.5 (4位)	9.6	15.9	12.2	17.1	14.4	54.8 (1位)	40.4 (2位)	30.3 (3位)	30代
24.6 (5位)	17.7	25.0 (4位)	10.8	15.3	16.6	49.6 (2位)	50.8 (1位)	30.0 (3位)	40代
30.7 (5位)	19.5	33.4 (3位)	14.9	24.7	16.8	51.6 (2位)	56.8 (1位)	32.1 (4位)	50代
25.4	14.2	26.7 (4位)	9.0	23.7	7.4	35.3 (2位)	44.4 (1位)	28.1 (3位)	60代
14.4	10.8	21.0 (4位)	8.6	21.7 (3位)	5.9	23.0 (2位)	29.6 (1位)	20.1 (5位)	70歳以上

福岡市の都市環境等で『不満がある』点について、行政区別にみると、東区、中央区、南区、城南区、西区では「市民のマナー」、博多区、早良区では「犯罪の少なさ」の不満度が最も高くなっている。

図表 福岡市の都市環境等で『不満がある』点【行政区別】

単位：%

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物 の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
全体	2,309	11.4	20.4	22.3	11.7	19.1	5.3	16.7	17.5	16.1
東区	522	11.3	15.5	18.8	10.2	16.3	4.6	16.4	16.1	15.7
博多区	281	17.4	24.2	15.3	7.1	19.5	6.8	15.0	17.4	16.0
中央区	251	10.0	19.2	15.6	7.6	17.1	2.4	19.1	16.3	15.2
南区	358	14.5	23.2	26.3	14.5	21.8	7.8	18.1	17.8	18.4
城南区	199	9.0	22.1	26.1	9.5	21.1	5.0	15.1	16.6	16.1
早良区	306	7.9	19.6	22.2	15.0	19.9	3.9	17.6	18.9	16.3
西区	320	9.4	20.3	31.6	14.4	18.8	5.7	14.1	18.1	13.4

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
23.5	14.0	24.3	12.6	23.3	13.0	44.2	45.4	29.4	全体
23.0	15.0	23.6	13.6	21.4	13.0	42.5	44.3	26.6	東区
22.8	17.5	22.0	12.9	19.9	18.1	50.9	49.4	28.5	博多区
22.7	10.8	20.7	10.0	23.9	13.6	47.4	47.8	29.5	中央区
23.5	13.4	28.0	13.5	25.5	13.7	41.9	45.2	33.0	南区
25.6	12.6	23.1	13.5	24.6	8.5	40.7	46.8	25.6	城南区
24.5	14.0	26.5	11.1	24.1	11.4	46.7	43.8	29.8	早良区
23.2	13.1	24.3	12.9	24.1	11.8	40.3	45.3	32.8	西区

満足度について、過去の調査結果と比較すると、令和元年度は平成30年度に比べて満足度が高くなった項目は「犯罪の少なさ」のみとなっている。平成30年度と比べて特にポイント差が大きいものについてみると、「自然環境の豊かさ」が5.7ポイント減少、「買い物の便利さ」と「住宅事情」が5.3ポイント減少となっている。

図表 福岡市の都市環境等に関する満足度【過去の調査との比較】



不満度について、過去の調査結果と比較すると、令和元年度は平成30年度に比べて、不満度が低くなった項目が11項目、高くなった項目が7項目となっている。平成30年度と比べて特にポイントの差が大きいものについてみると、「犯罪の少なさ」が5.7ポイント減少、「レジャー・レクリエーション施設の充実」が3.0ポイント減少となっている。

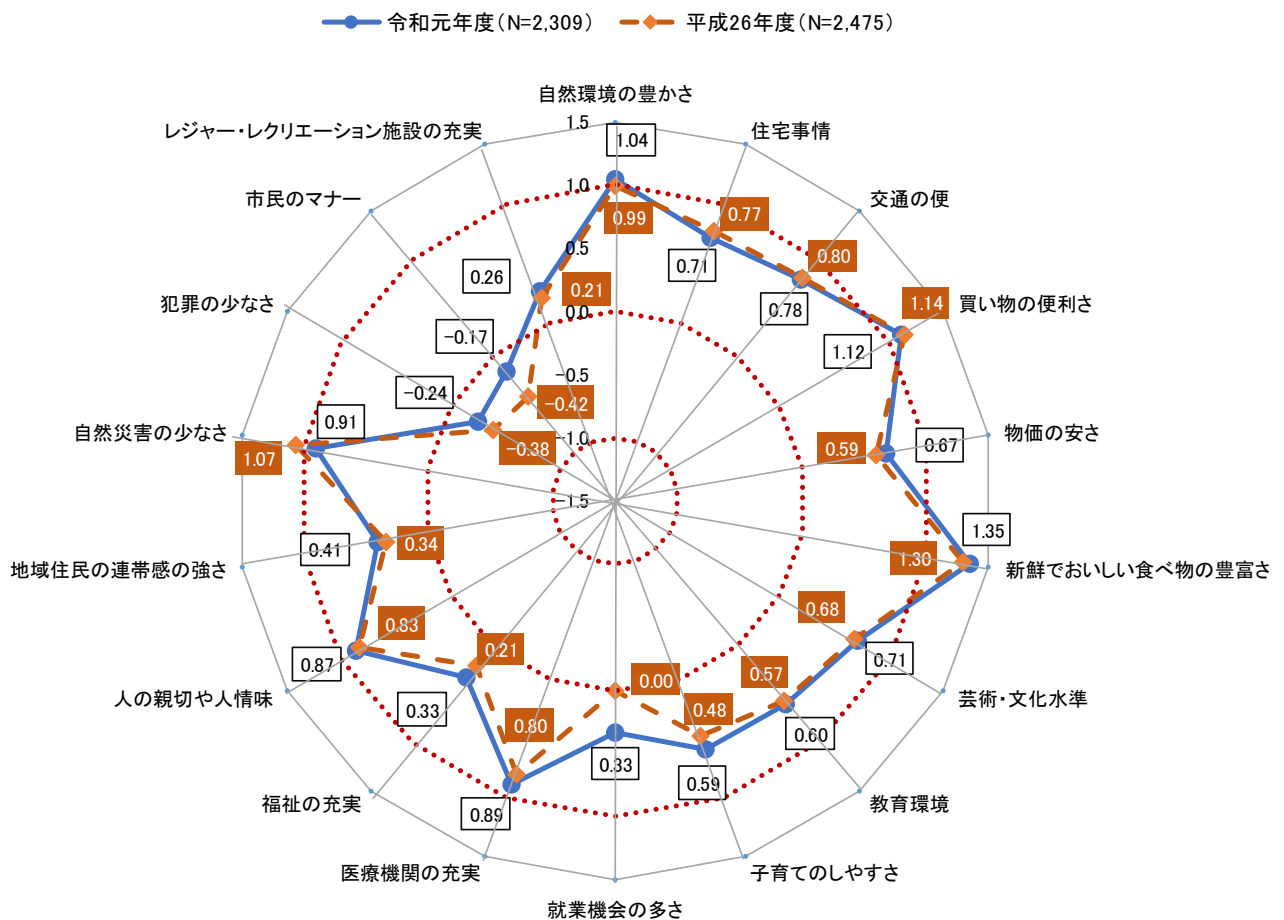
図表 福岡市の都市環境等に関する不満度【過去の調査との比較】



福岡市の都市環境等の満足度について、平均評定値*を過去の調査結果と比較すると、「新鮮でおいしい食べ物の豊富さ」「買い物の便利さ」は平成26年度と令和元年度のどちらも平均評定値が1.00を超えている。一方、「犯罪の少なさ」「市民のマナー」はどちらも平均評定値がマイナスとなっている。

また、令和元年度は平成26年度と比べ、18項目中14項目でポイントが上がっている。特に「就業機会の多さ」(+0.33)、「市民のマナー」(+0.25)の数値が大きく向上している。

図表 福岡市の都市環境等に関する満足度（平均評定値）【過去の調査との比較】



※平均評定値について
 イメージ等、通常は数値的に評価することができないものを定量的に評価するため、「満足している」:+2点、「どちらかといえば満足」:+1点、「どちらかといえば不満」:-1点、「不満がある」:-2点と回答を得点化し、この平均を求めたもの。したがって、+2点に近いほど「肯定(好意的)」、逆に-2点に近いほど「否定(非好意的)」であることを示す。

図表 福岡市の都市環境等に関する満足度（平均評定値）【過去の調査との比較】

単位:点

	調査数	自然環境の豊かさ	住宅事情	交通の便	買い物の便利さ	物価の安さ	新鮮でおいしい食べ物の豊富さ	芸術・文化水準	教育環境	子育てのしやすさ
令和元年度	2,309	1.04	0.71	0.78	1.12	0.67	1.35	0.71	0.60	0.59
平成26年度	2,475	0.99	0.77	0.80	1.14	0.59	1.30	0.68	0.57	0.48

就業機会の多さ	医療機関の充実	福祉の充実	人の親切や人情味	地域住民の連帯感の強さ	自然災害の少なさ	犯罪の少なさ	市民のマナー	レジャー・レクリエーション施設の充実	
0.33	0.89	0.33	0.87	0.41	0.91	-0.24	-0.17	0.26	令和元年度
0.00	0.80	0.21	0.83	0.34	1.07	-0.38	-0.42	0.21	平成26年度

※網掛けは「0.00」から最も遠い数値に行っている。